



## 2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年7月15日

上場会社名 株式会社 ブロンコピリー

上場取引所 東名

コード番号 3091 URL <http://www.bronco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹市 克弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 古田 光浩

TEL 052-856-4129

四半期報告書提出予定日 2020年7月22日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	7,723	30.7	487		449		866	
2019年12月期第2四半期	11,145	0.1	1,168	17.4	1,202	17.3	773	20.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	57.46	
2019年12月期第2四半期	51.34	51.26

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	24,501	16,940	68.9	1,119.70
2019年12月期	21,041	17,976	85.2	1,188.88

(参考)自己資本 2020年12月期第2四半期 16,882百万円 2019年12月期 17,926百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		12.00		12.00	24.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2020年12月期の業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	23.8	100	95.8	150	93.9	450		29.84

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期2Q	15,079,000 株	2019年12月期	15,079,000 株
-------------	--------------	-----------	--------------

期末自己株式数

2020年12月期2Q	929 株	2019年12月期	929 株
-------------	-------	-----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年12月期2Q	15,078,071 株	2019年12月期2Q	15,072,920 株
-------------	--------------	-------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)におけるわが国経済は、昨年末から企業収益の改善がみられたものの、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を受け、景況感とはかたがたに厳しさとなっております。

外食産業におきましては、昨年10月の消費税増税や暖冬の影響による個人消費が低迷していた上、新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、外出自粛要請・緊急事態宣言により消費マインドは更に悪化、臨時休業や営業時間短縮を余儀なくされ、極めて厳しい状況が続いております。

こうした状況下、当社では「ステーキハウス・ブロンコビリー」として、専門店としての商品力強化・ブランド力の向上と「ご馳走レストラン」のコンセプトの実現に取り組むのと同時に、新型コロナウイルス感染症への対応に取り組んでまいりました。

商品面では、「炭焼き極選リブコースステーキ」やウルグアイ産「炭焼き超厚切り熟成サーロインステーキ」の販売力強化を継続的に推し進めながら、地域限定商品として導入した「365日肥育炭焼きUSプレミアムステーキ」の販売店舗を拡大しました。コロナ禍での外出が思うようにできないお客様にもご自宅でもステーキ・ハンバーグ専門店の味を楽しんでいただけるよう、テイクアウト限定商品の「炭焼きハラミステーキ重」を含む4種のテイクアウトメニューを5月13日より販売しました。緊急事態宣言解除後の6月に入り、店舗でのお食事を楽しまれるお客様が順調に増加したため、テイクアウトメニューは一部店舗を除き6月30日で終了しております。

販促面では、2月に期間限定「お客様大感謝祭全品20%OFFキャンペーン」を開催し、消費マインドが低下したお客様にご来店いただける施策を実施しました。自社アプリによるタイムリーな情報発信、地区別のプロモーション活動など、お客様の再来店と新規顧客への認知度向上のための施策を継続的に行いました。外出自粛後の6月にはお客様のご来店への感謝とコロナ禍でも再来店いただきやすいように12月30日までご利用いただける3種類の割引クーポンを配布する「ありがとうキャンペーン」を実施しました。

新型コロナウイルス感染症への対応においては、行政機関等による要請に応じ、営業時間の短縮の実施、さらに4月8日から4月30日まで約6割に当たる関東・関西地区等の77店舗の休業を実施しました。同時にお客様と従業員の安全確保を第一に、従業員のマスク着用の徹底と健康管理、サラダバーにおける飛沫感染対策設備の導入、店舗の消毒等感染拡大防止対策に取り組まれました。従業員の雇用維持をする一方、役員報酬の減額や固定費の削減など販管費の抑制に努めました。

店舗面では、不採算店を2月に1店舗閉鎖する一方、昨年に引き続き出店を抑えて関東・関西・東海各地区の既存店の強化に取り組んでまいりました。2020年6月30日現在の店舗数は133店舗となっております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は77億23百万円(前年同期比30.7%減)、営業損失4億87百万円(前年同期営業利益11億68百万円)、経常損失4億49百万円(前年同期経常利益12億2百万円)、四半期純損失8億66百万円(前年同期四半期純利益7億73百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は245億1百万円(前事業年度末210億41百万円)となり34億59百万円増加いたしました。その主な要因は、流動資産の現金及び預金が新型コロナウイルス感染症の長期化に備え50億円の資金を借入れたことにより41億58百万円増加した一方、有形固定資産が減損損失及び減価償却費の計上により6億16百万円減少したこと等によります。

##### (負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は75億60百万円(前事業年度末30億65百万円)となり44億95百万円増加いたしました。その主な要因は、長期借入金が新型コロナウイルス感染症の長期化に備え50億円増加した一方、買掛金が1億68百万円及び未払法人税等が3億66百万円減少したこと等によります。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は169億40百万円(前事業年度末179億76百万円)となり10億36百万円減少し、自己資本比率は68.9%(前事業年度末85.2%)となりました。その主な要因は、四半期純損失の計上と配当金の支払い等により利益剰余金が10億47百万円減少したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、102億67百万円(前事業年度末61億21百万円)となり、41億46百万円増加いたしました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は5億59百万円(前年同期は10億78百万円の収入)となりました。これは主に、税引前四半期純損失を9億9百万円計上及び法人税等の支払額が3億58百万円あった一方、減価償却費を4億11百万円及び減損損失を3億11百万円計上したこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は1億5百万円(前年同期比93.0%減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が66百万円及び無形固定資産の取得による支出が54百万円あった一方、差入保証金の回収による収入が21百万円あったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は48億10百万円(前年同期は1億80百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入れによる収入が50億円あった一方、配当金の支払額が1億80百万円あったこと等によります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響の見通しが立たず適正かつ合理的な算定が困難なため、2020年4月15日に未定として公表しておりました2020年12月期の業績予想を現時点で入手可能な情報や予測等に基づき修正いたしました。また、配当予想につきましても、2020年12月期の業績予想に基づき修正いたしました。詳細につきましては本日公表の「業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,159,688	11,317,725
売掛金	347,286	269,965
商品及び製品	107,174	85,781
原材料及び貯蔵品	585,474	465,058
その他	221,424	322,661
流動資産合計	8,421,048	12,461,192
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,703,385	6,250,370
構築物(純額)	726,100	681,919
工具、器具及び備品(純額)	662,128	562,746
土地	1,683,862	1,683,862
その他(純額)	165,835	146,406
有形固定資産合計	9,941,312	9,325,305
無形固定資産	168,284	210,015
投資その他の資産		
長期預金	1,000,000	1,000,000
差入保証金	1,077,743	1,013,559
その他	433,485	491,188
投資その他の資産合計	2,511,228	2,504,747
固定資産合計	12,620,825	12,040,068
資産合計	21,041,873	24,501,260
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	536,779	367,873
短期借入金	110,136	110,136
リース債務	16,950	16,950
未払金	882,095	811,054
未払法人税等	440,530	73,857
賞与引当金	42,693	43,930
販売促進引当金	20,589	330,052
その他	408,148	219,384
流動負債合計	2,457,922	1,973,240
固定負債		
長期借入金	-	5,000,000
リース債務	227,092	218,617
資産除去債務	367,008	355,643
その他	13,428	13,407
固定負債合計	607,529	5,587,667
負債合計	3,065,451	7,560,907

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,210,667	2,210,667
資本剰余金	2,120,664	2,120,664
利益剰余金	13,582,539	12,535,283
自己株式	△1,608	△1,608
株主資本合計	17,912,262	16,865,007
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,775	17,850
評価・換算差額等合計	13,775	17,850
新株予約権	50,384	57,495
純資産合計	17,976,421	16,940,353
負債純資産合計	21,041,873	24,501,260

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	11,145,262	7,723,723
売上原価	3,052,070	2,175,511
売上総利益	8,093,192	5,548,211
販売費及び一般管理費	6,924,195	6,035,726
営業利益又は営業損失(△)	1,168,997	△487,514
営業外収益		
受取利息	1,484	2,419
受取配当金	1,145	1,547
受取賃貸料	8,857	14,096
協賛金収入	33,631	30,000
その他	5,631	7,103
営業外収益合計	50,750	55,166
営業外費用		
支払利息	217	1,837
賃貸費用	8,061	12,695
その他	9,187	2,139
営業外費用合計	17,466	16,672
経常利益又は経常損失(△)	1,202,281	△449,021
特別利益		
固定資産売却益	-	1,137
補助金収入	-	87,583
特別利益合計	-	88,721
特別損失		
固定資産除売却損	1,793	1,709
減損損失	31,379	311,283
投資有価証券評価損	8,096	12,809
店舗休止損失	-	223,717
特別損失合計	41,269	549,519
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	1,161,011	△909,820
法人税、住民税及び事業税	381,712	31,999
法人税等調整額	5,422	△75,501
法人税等合計	387,134	△43,502
四半期純利益又は四半期純損失(△)	773,876	△866,318



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	1,161,011	△909,820
減価償却費	455,446	411,621
減損損失	31,379	311,283
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,522	1,237
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	68	309,463
受取利息及び受取配当金	△2,629	△3,966
支払利息	217	1,837
固定資産除売却損益 (△は益)	1,793	571
投資有価証券評価損益 (△は益)	8,096	12,809
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△30,325	141,807
売上債権の増減額 (△は増加)	△19,846	77,320
長期前払費用の増減額 (△は増加)	7,749	9,063
仕入債務の増減額 (△は減少)	△135,712	△168,906
未払金の増減額 (△は減少)	80,305	△67,641
未払消費税等の増減額 (△は減少)	20,831	△132,719
その他	△31,319	△196,555
小計	1,551,587	△202,592
利息及び配当金の受取額	2,629	3,966
利息の支払額	△220	△2,450
法人税等の支払額	△475,748	△358,533
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,078,248	△559,610
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,018,026	△12,026
有形固定資産の売却による収入	-	2,259
有形固定資産の取得による支出	△470,616	△66,761
有形固定資産の除却による支出	△880	△314
無形固定資産の取得による支出	△5,473	△54,311
資産除去債務の履行による支出	-	△4,505
投資有価証券の取得による支出	△104	-
差入保証金の差入による支出	△10,402	△1,725
差入保証金の回収による収入	11,279	21,010
建設協力金の支払による支出	△18,000	-
建設協力金の回収による収入	10,914	11,150
預り保証金の返還による支出	△210	△270
預り保証金の受入による収入	5,000	249
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,496,520	△105,245
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	5,000,000
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,984	-
リース債務の返済による支出	△7,575	△8,475
自己株式の取得による支出	△10	-
配当金の支払額	△180,140	△180,658
その他	8	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△180,734	4,810,865
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△599,006	4,146,010
現金及び現金同等物の期首残高	5,909,366	6,121,257
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,310,360	10,267,267

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、店舗の休業および営業時間の短縮等により来客数が減少し業績に大きな影響を受けております。

新型コロナウイルス感染症の収束時期等を正確に予測することは困難な状況ではありますが、本感染症の影響につきましては、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、2020年12月期第3四半期以降徐々に回復に向かうと想定し、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。